

令和3年度 かながわ学びづくり推進地域研究委託事業 (真鶴町)



研究テーマ

伝え合い・学び合いを通して育む確かな学びと豊かな心

研究の方向性

当町では、これまでの「全国学力・学習状況調査」において、「他者とのコミュニケーションによる問題解決力」がストロングポイント、「書く、読むこと」がウィークポイントであることが明らかになっている。それらの結果をもとに、「思考力・判断力・表現力等」の育成を目的とした主体的・対話的で深い学びのある授業の創造をめざすと共に、豊かな学びの土台となる基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることをめざす。また、一小一中の環境を生かした「小中の一貫した教育」を進め、共に学び共に育ち、生きる力を育む教育を推進する。

教育委員会の取組

全国学力・学習状況調査の結果を検証し、学校代表の教員とともに改善策を検討する「学力調査検証委員会」を開催する。その結果を保護者・教職員に報告する「真鶴町学力調査の結果分析と今後の方向性」の冊子を作成・配付をする。

真鶴町幼小中一貫教育合同研究会

授業研究

- ・校内研究会の相互参観、研究協議への相互参加
- ・ICT活用、外国語教育、道徳教育の充実
- ・学習規律・規範等の共有
- 授業に関する真鶴スタンダードの確立

幼(保)小中連携事業

- ・あいさつ運動 ・中学校学習活動発表会への参加
- ・部活動体験 ・交流授業
- ・ウィンタースクール
- 目標の明確化・振り返りの充実

ふるさと教育の充実

- ・年間指導計画の検証と修正
- ・学習内容・実施形態等の確認・情報共有
- ・キャリア教育の取組
- ・家庭・地域への学習成果等の情報の発信

幼・小・中	ひなづる幼稚園	まなづる小学校	真鶴中学校
研究テーマ	心と体を弾ませ、主体的に取り組める環境づくり	学びを出力できる子の育成 ～みんなで支え合い「わかる・できる」を実感できる 学び合いのある算数授業を通して～	望ましい人間関係の構築と学びに向かう力の育成
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を通して総合的な指導に取り組む。 ・12年間の子どもの育ちの連続性を大切にした土台作り。 ・読み聞かせと読書習慣の定着。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びを出力できる子」のイメージを明確にした授業実践に取り組む。 ・「学び合いスキル」をもとにした学び合いのある算数授業に取り組む。 ・安心して授業に参加できる学級経営・子ども同士の関わりを大切にす。 ・授業の中に「書く活動」を取り入れる『授業ベースプラン』を作成する。 ・読書タイムを活用して、「読書の日常化」を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業のユニバーサルデザイン」を基盤とした授業改善に取り組む。 ・グループ活動等を授業に取り入れ、共に学び合える学習集団に高める。 ・多様な人々との交流を通し、思いやりの心と豊かな人間関係を育む。 ・段落の構成や、文の種類の違いなどを意識させ、表現力を高める。 ・朝読書（MT）の時間を充実させる。
講師	早稲田大学 小林宏己 先生 (足柄下郡教育課題研究協議会 幼児教育指導力向上研修会)	東京家政大学 石田淳一 先生	武蔵野大学 江原美明 先生 横浜国立大学 白井達夫 先生

成果と課題

コロナ禍での研究であったが、ICT機器を活用したり、感染症対策を講じたり、家庭と連携したりしながら研究を深めることができた。特にICTを活用し、学び合いを効果的に進めたり、個別に基礎的な力を高めたりする実践が、見られたのは成果である。

一方で課題としては、コロナ禍において幼・小・中学校間での連携が十分行えなかったことが挙げられる。授業研究への相互参加や交流授業などが十分行えなかった。コロナの状況を見定めながら、できるところから連携を再構築し、Withコロナのスタイルを確立していきたい。